

東日本大震災から 10 年を迎え

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から、本日で 10 年を迎えました。亡くなられた方々とその御遺族に、深く哀悼の意を表します。

あの日の巨大地震と大津波によって、1 万 6,000 人近い方が亡くなられ、現在でも 2,500 人を超す行方不明の方がおられます。さらに、原子力発電所事故により、避難生活を余儀なくされ、故郷に戻れない方々も大勢おられます。

こうした大きな被害を受けられた被災地において、住民の皆様の絶え間ない努力により、高台移転や市街地の再生など新たなまちの復興に向けた取り組みが続けられています。

また、東北地方太平洋側を中心に全長 500 キロメートルを超える復興道路や復興支援道路は全線開通が目前まできております。

一方、被災された方々の生活再建や地域産業再生、そして放射性物質による汚染廃棄物処理など、依然として乗り越えなければならない課題も山積しております。

全国市議会議長会では、被災された皆様が安全安心な生活を送れるよう、今後も被災地の復興状況を常に把握し、課題を掘り下げ、国に対する要望に適切に反映させていく決意であります。

令和 3 年 3 月 11 日

全国市議会議長会